

## バド全国大会5位入賞

12月23日から27日にかけて、北海道釧路市で開催された第20回全日本小学生バドミントン選手権大会に出場した小笠原悠吾くん（山田小4年）・池本裕翔くん（南国市）ペアが、男子ダブルス4年生以下の部で5位に入賞しました。同種目での5位入賞は県勢初。

同ペアは、昨年10月16日に徳島県鳴門市で開催された四国ブロック予選の同種目で優勝し、同大会への出場権を獲得しました。今後の活躍が期待されます。

5位に入賞した小笠原くん

## ねえ ピッタリ



2月5日、香北青少年の家周辺で、ピッタリ駅伝、ピッタリマラソン、ちびっこマラソンが開催されました。

ピッタリ駅伝、ピッタリマラソンでは、各々が定めたタイムを目指し、ちびっこマラソンでは速さが競われました。

【大会結果】各種目1位。（ ）内は参加数  
ピッタリマラソン（19人）  
沖野 亮一  
ピッタリ駅伝（17チーム）  
香北陸上クラブB  
ちびっこマラソン  
低学年女子（3人）：宗石 実珠綺  
低学年男子（12人）：宗石 悠希  
高学年女子（7人）：小松 有結  
高学年男子（9人）：神 航貴



## 凧揚げ大会開催

1月15日、凧揚げ大会（物部地区公民館主催）が、柳沢グラウンド（物部町大柵）で開催されました。

会場には、同公民館主催の凧作り教室で作った凧を手には、大柵保育園児をはじめ、約70人が集まりました。

また、昨年物部町内で誕生した赤ちゃんの名前を入れた祝凧（1m）や、今年の干支の龍を描いた大凧（2m）も次々に揚げられました。昼食には七草女性学級の皆さんの協力により、七草がゆが振る舞われました。

風があまり吹かず天高くとまでは揚がりませんでしたが、参加者は何度も凧揚げに挑戦し、新春の青空の下で、快い汗を流しました。

## 健闘！市町村対抗駅伝

1月29日、第60回高知縣市町村対抗駅伝競走（安芸都市体育会主催）が開催され、41チームが参加しました。室戸市から安芸市まで西進する8区間46.5kmで競われ、香美市Aチームが8位（2時間36分28秒）に入る健闘を見せました。



▲健闘した香美市チームのメンバー

## アンパンマンカップ開催

1月7日・8日の両日、県立青少年センター（香南市）を主会場に、工科大・山田高校・山田小学校・香北体育センターなどの県内17会場で第13回四国近県交歓小学生バレーボール大会（アンパンマンカップ）が開催されました。

この大会は、香美スポーツ少年団香北バレーボールクラブを中心としたアンパンマンカップ実行委員会（五百蔵隆実行委員長・香北町在住）が主催し、毎年開催している大会で、小学生の大会としては西日本最大の大会です。今回の大会には、四国・中国・近畿地方から224チーム約2,300人が参加し熱戦を繰り広げました。

選手を代表し、中山玲菜選手（大宮小6年）が選手宣誓をしました。



▲開会式の様子（県立青少年センター）



▲香北中学生によるいざなぎ流舞神楽の公開

1月21日・22日、美術館で香美市芸術祭の最後の催しとなる文化展が開催されました。絵画・手工芸・書道・陶芸・生け花など、多くの力作が展示されたほか、保育園・幼稚園児による作品や小中高生の作品も展示され、幅広い年齢層による多彩な作品に、訪れた市民は感心していました。

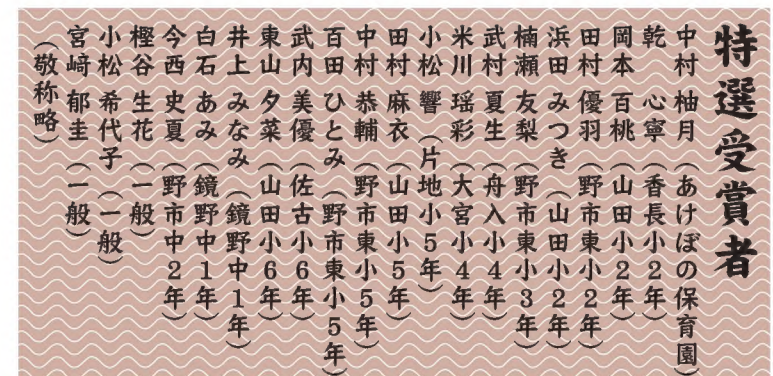
また、香北中学生によるいざなぎ流舞神楽の公開や紙芝居座へんしもによる紙芝居の実演では、子供も大人も見入って楽しみました。

文化展初日には、香長小4年生が自分たちで育てたもち米を販売し、来場者が次々と買い求めて数分で完売しました。



1月5日、香美市第6回新春書初め大会が中央公民館で開催されました。

早朝より園児から大人まで約80人が参加し、条幅紙に力強く筆を走らせて「あさひ」「たつどし」「龍翔景雲」などの課題を書き上げました。



## 新春書初め大会